

今、社会では、自分で課題を見つけ、多様な人と協働しながら解決していく力が求められはじめており、全国学力・学習状況調査では、基礎的な知識だけでなく、『理由を書く』『考えを説明する』といった思考・判断・表現に関わる力が重視されています。学校でも、知識を覚えることだけでなく、考え、表現し、判断する力を育成する教育が進められています。

今回は、そんな力を育成する視点で、いくつかの問題を出します。家庭での何気ない会話は、子どもの思考力や表現力を育てる大切な時間です。ご家庭で『親子で一緒に考える時間』をつくってみませんか。

さあ、考えてみよう！！



①数の法則クイズ

1, 2, 3, 5, 8, 13, 21 … この並びにはどんなきまりがあると思う？

どうしてそう考えたのか、理由を聞いてみてください。親子で「どうしてこうなると思う？」をやりとりしてみましょう。

(ヒント：前の2つの数が関係しています。)



②推理の問い

朝8時に家を出て、3分経ったあと、1分経つごとに速く歩いたら、何分で学校に着くと思う？

実はこの問いは穴だらけ。解くことが目的ではないのです。お子さんから、「え？距離がわからないと無理じゃない？」「速さがわからないと出せないよ」などの気づきが出れば素晴らしい！それは立派な「問題発見力」です。計算だけでなく、『どう考えればよいか』を一緒に話し合ってみましょう。お子さんが悩んでいたなら、「この問題を解くには、ほかにどんな情報が必要かな？」など、気づきのきっかけを与えてあげましょう。

(この問題を解くには、「同じ速さで歩いたら30分で学校に着きます。」などの基準となる情報が必要です。きちんと解きたいお子さんには、考えた後で『時間』や『速度』、『道のり』などの基準となる情報を提示してあげましょう。)

③ことばの問い

『幸せって何？』あなたは思う？どうしてそう思ったの？

この問いに正解はありません。自分の考えを言葉にすることが大切です。



やってみよう！のポイント



- ・ 正解をすぐに教えない
- ・ 間違いを否定しない（「どうしてそう思ったの？」と問い返す）
- ・ 「なるほど、そう考えたんだね」と受け止める
- ・ 保護者の方も一緒に本気で考える



「どうしてそう考えたの？」「へえ、そんな考え方もあるんだね！」そんな一言が、子どもの自信になります。

答えよりも『考えるプロセス』を楽しむ時間が、子どもたちの自信や学びに向かう力を育てます。

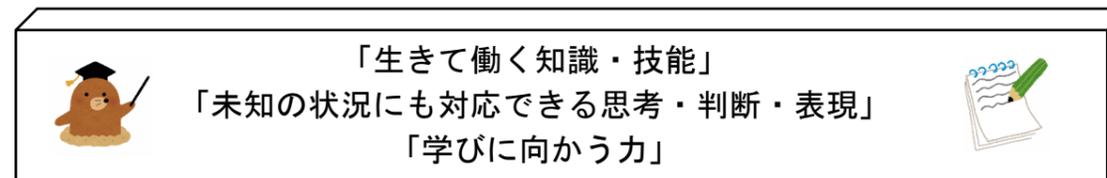
こんな力が育ちます

- ・ 考える力（理由を深く考える習慣）
- ・ 表現する力（自分の考えを言葉で伝える力）
- ・ 問題発見力（日常の中から問いを見つける力）
- ・ 対話力（相手の考えを聞き、自分の考えを調整する力）



日常の会話の中で、ちょっとした「問い」を共有するだけで、子どもたちの思考力や対話力を伸ばすきっかけになります。

そして、これらの問いで育つ力は、学校で大切にしている



にもつながっていきます。ぜひ、ご家庭での会話の一つとして取り入れてみてください。



泉南市教育委員会 教育部 学力向上対策室
〒590-0505 大阪府泉南市信達大苗代 374-4
TEL : 072 (483) 3673